

令和3年度

都市農地活用実践ゼミナール 開催案内

～都市農地の多様な主体による活用と展開～

■ 日時：令和4年2月18日（金）13:00～16:30（受付12:30～）

■ 会場：東京ウィメンズプラザ 視聴覚室 定員 50名
※通常定員の半数に減らしています

オンライン（zoomウェビナーを使用）定員500名

<第1部 都市農地制度の解説と動向>

Seminar
1

「都市農地制度の活用状況について」 ～特定生産緑地の
現状を中心に～

<講師> 酒井 翔平氏（国土交通省 都市局 都市計画課 課長補佐）

Seminar
2

「都市農地の新たな活用事例の特徴」 ～都市農地貸借円滑化法を
中心に～

<講師> 小谷 俊哉（一般財団法人 都市農地活用支援センター）

<第2部 都市農業と関わる多様な活動>

Seminar
3

「農福連携の動向と展望」

<講師> 林 正剛氏（NPO法人 HUB's 理事長）

Seminar
4

「農と市民をつなぐCSAの取組み」 ～みんパタ式CSAの作り方
『CSA』から『ASC』への転換～

<講師> 飯尾 裕光氏（株式会社 みんパタプロジェクト 代表取締役）

Seminar
5

「農業と企業のCSV活動」

<講師> 緩鹿 泰子（一般財団法人 都市農地活用支援センター）

■ 受講料（会場・オンライン共通） 4,000円（学生 2,000円）

※資料の配布は会場のみ、オンラインで受講の方はダウンロード形式となります。

■ 申込方法：当センターホームページよりお申込み下さい。受講料は原則事前支払いとなります。

■ 主催・連絡先：一般財団法人 都市農地活用支援センター 普及部

〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-9-13 岩本町寿共同ビル 4階

HP URL <http://www.tosinouti.or.jp> e-mail: seminar@tosinouti.or.jp

tel: 03-5823-4830 fax: 03-5823-4831

■ 後援：一般社団法人 全国農業協同組合中央会

都市農地センター
ホームページ



■プログラム・講師プロフィール

13:00	開会 (12:30～開場・受付開始)
第1部	＜都市農地制度の解説と動向＞
13:10 ～13:50 Seminar 1	<p>「都市農地制度の活用状況について ～特定生産緑地の現状を中心に～」 都市農業振興基本法・基本計画や生産緑地法の改正等、新しい都市農地関連制度活用のポイントについて解説するとともに、特定生産緑地への移行状況等、新しい制度の活用状況を紹介します。</p> <p>【酒井翔平氏】国土交通省 都市局 都市計画課 課長補佐</p> 
13:50 ～14:20 Seminar 2	<p>「都市農地の新たな活用事例の特徴 ～都市農地貸借円滑化法を中心に～」 都市農地の貸借の円滑化に関する法律の成立等により、行政や民間による新たな都市農地の活用事例が増えてきている。貸借円滑化法を中心に、都市農地の新たな活用動向やその特徴について紹介する。</p> <p>【小谷俊哉】都市農地活用支援センター・主席研究員、都市農地活用保全アドバイザー、技術士（建設部門 都市および地方計画）</p> 
第2部	＜都市農業と関わる多様な活動＞
14:35 ～15:15 Seminar 3	<p>「農福連携の動向と展望」 全国各地で取り組みが広がっている農福連携について、今後の動向や都市の実情を踏まえた、都市農地における農福連携の取り組みの展望について紹介する。</p> <p>【林正剛氏】NPO法人 HUB's 理事長。都市農地活用保全アドバイザー。農業と福祉の課題をマッチングさせ地域活性となる取り組みのコーディネーター、農業分野における障害者の仕事創出など農福連携にかかわるコンサルティングが専門</p> 
15:15 ～15:55 Seminar 4	<p>「農と市民をつなぐCSAの取組み ～みんパタ式CSAの作り方 『CSA』から『ASC』への転換～」 今、あらゆる分野に注目されるCSA。暮らしと農業がつながることで、生活に必要なお買い物、環境にやさしい生き方、世代を超えた食農教育といった、SDGsに繋がる意識を変革させる。農業の可能性を広げ、消費者の暮らしを豊かなものにするCSAを模索する。</p> <p>【飯尾裕光氏】株式会社みんパタプロジェクト 代表取締役。公益社団法人全国愛農会会長、都市農地活用保全アドバイザー。都市近郊農地活用、体験農園運営、エディブルガーデン指導、朝市オーガナイザー、農業コンサルティング、6次産業&フードコーディネーションが専門</p> 
15:55 ～16:25 Seminar 5	<p>「農業と企業のCSV活動」 SDGsの実現が世界企業の共通目標となる中で、CSV（Creating Shared Value＝共通価値の創造）に関心を持つ企業が増えている。とりわけ農業分野において、企業の取り組みが増加していることから、その事例を通じて農業との関わり方について紹介する。</p> <p>【緩鹿泰子】都市農地活用支援センター・主任研究員、都市農地活用保全アドバイザー、博士（生物資源科学）</p> 
16:30	閉会

■会場へのアクセス 東京ウィメンズプラザ 東京都渋谷区神宮前5-53-67

- 渋谷駅 宮益坂口から徒歩12分 (JR・東急東横線・京王井の頭線・東京メトロ副都心線)
- 表参道駅 B2出口から徒歩7分 (東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線)
- 都バス (渋谷88系統) 渋谷駅から2つ目 (4分) 青山学院前バス停から徒歩2分



● 2月28日より2週間（予定）、本ゼミナール及び下記2講座をオンデマンド配信します。
※別途お申し込みが必要となります。詳しくは当センターホームページをご覧ください。

Extra Seminar 1

● 食育編 「都市部での伝統野菜の魅力発信と普及活動～大阪・なにわの伝統野菜～」
＜講師＞ 難波りんご氏 (大阪難波葱普及委員会 代表)



Extra Seminar 2

● マルシェ編 「マルシェを通して作る人と食べる人をつなげ (都市) 農業を応援する」
＜講師＞ 中川美陽子氏 (空庭 (ソラニワ))

